

# 和地ひとみレポート No.406

東大和市第五次基本計画（案）  
東大和市国土強靱化地域計画（案）  
東大和市学校施設長寿命化計画（案）

## 3つの計画に対しパブリックコメントを実施

### ■市議会全員協議会で概要説明

…9月1日から令和3年第3回東大和市議会定例会が開かれています。その初日の本会議終了後に開催された市議会全員協議会では、

東大和市第五次基本計画(案)  
東大和市国土強靱化地域計画(案)  
東大和市学校施設長寿命化計画(案)

の概要ならびに今後の進め方のスケジュールが説明されました。これら、3つの計画については、パブリックコメントを実施し、広く市民の意見を聞く予定となっています。

(※各計画の内容等は市のHP等でご確認ください)

### ■新しい総合計画の愛称は“輝きプラン”

…基本計画は、市の最上位計画を構成する計画です。

東大和市では「基本構想」の期間を20年、「基本計画」の期間を10年、「実施計画」の期間を3年に設定。一番具体的な事業などを含む「実施計画」については、計画期間を3年としながらも、毎年、ローリングによる見直しを行っています。

…現在は、平成13年(2001)に策定し、平成24年(2012)に改訂をした第二次基本構想のもとの第四次基本計画の

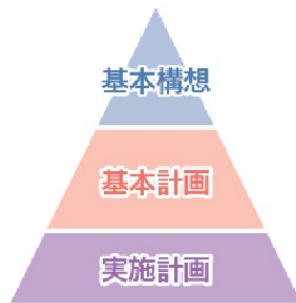
期間中ですが、今年度で終了となります。そして、来年度からの20年間の第三次基本構想は、昨年の12月に市議会の議決を経ており、その“まちづくりの目標”＝「都市像」と「基本目標」を実現するために、様々な施策を体系化して成果指標や施策の展開方向などを定めた第五次基本計画（案）が今回、示されました。

### 【これまでの東大和市の基本構想の変遷】

#### ◆(第一次)基本構想

・期間:昭和57年(1982)～平成13年(2001年)  
〈将来都市像〉うるおいとふれあいのあるまち東大和

- 〈基本目標〉
- ・豊かな人間性と文化を育むまち
  - ・健康であたたかい心のかよいうまち
  - ・暮らしと産業が調和するまち
  - ・安全で快適な魅力あるまち



#### ◆第二次基本構想

・期間:平成14年(2002)～令和3年度(2021)

〈将来都市像〉人と自然が調和した生活文化都市 東大和

〈基本目標〉

- ・豊かな人間性と文化を育むまち
- ・健康であたたかい心のかよいうまち
- ・暮らしと産業が調和するまち
- ・環境にやさしく安全で快適なまち
- ・相互の理解と協力を支えられるまち

#### ◆第三次基本構想

・期間:令和4年度(2022)～令和23年度(2041)

〈将来都市像〉水と緑と笑顔が輝くまち 東大和

〈基本目標〉

- ・子どもたちの笑顔があふれるまち
- ・健康であたたかい心のかよいうまち
- ・安全・安心で利便性が高いまち
- ・心豊かに暮らせるまち
- ・環境にやさしいまち
- ・暮らしと産業が調和した活力あるまち

…総合計画については、学識経験者及び公募の市民で構成される“総合計画審議会”に市長が諮問をし、その答申を得ることとなっており、第五次基本計画についても、来年度の1月頃に答申が出る予定です。

…また、今回の概要説明では市の総合計画に愛称を付けることになったとの説明も。今までは総合計画に愛称はありませんでしたが、市民の皆様にとって親しみやすいものとなるよう、将来都市像の『水と緑と笑顔が輝く街』の“輝”の言葉を引用して「輝きプラン」という愛称をつけたとのことでした。

### ■第五次基本計画（案）は

…来年度からの10年間の期間とする第五次基本計画は、以下のフロー（流れ）で検討がされ、まちづくりの主要課題と分野別計画26施策の主要課題に対応するための15施策を重要施策と位置付けたとのことでした。

### 【第五次基本計画の検討のフロー（流れ）】

#### ①第五次基本計画の背景の整理

- ➡社会・経済情勢の分析:少子高齢化と人口減少の進展等
  - ➡市の財政状況の現状と見直し
  - ➡第四次基本計画の達成状況の確認
  - ➡市民意識調査等から市民等の意見の把握

#### ②まちづくりの主要課題の整理

#### ③重要施策の設定

(裏面に続く)



## 【第五次基本計画のまちづくりの主要課題】

### 【1】子ども・子育てへの支援

子育て世帯の持続的・安定的な定住により、人口減少をできる限り抑制するために、子育て支援に関するサービスの充実に努める必要がある。また、子どもたちが将来に向かって必要な資質・能力を身に付け、豊かな人生を送ることができるよう、子ども達の意見や個性が尊重され、学びを実感できる学校教育を推進し、良好な学習環境を整える必要がある。

### 【2】健康づくり・生きがいづくりへの支援

誰もが住み慣れた地域で健やかな毎日を送ることができるよう、市民一人ひとりのライフステージに合った健康づくりや生涯学習・スポーツ活動を推進する必要がある。また、高齢化の進展に伴い、今後さらに増加すると見込まれる高齢者が、地域のまちづくりを支える担い手として活躍できるよう、就業や社会参加の機会を拡大、健康寿命の延伸を図る必要がある。

### 【3】都市としての価値の向上

少子高齢化と人口減少の進展による影響を最小限に食い止め、活力あるまちとして持続的な発展が出来るよう、豊かな自然環境の保全と市民の生活環境の向上を図りながら、都市としての価値を高めていく必要がある。市民の生活環境の向上に向けては、地域経済の活力を確保するための産業の振興や、社会・経済情勢の変化に対応した都市づくり、市民の安全・安心な暮らしを支えるための防災面の取組強化などに努める必要がある。

### 【4】行財政運営の基盤の確立

今後、人口動態の変化の影響を受け、個人や地域が抱える課題がますます多様化・複雑化していくと見込まれる中、より多くの施策分野において、地域社会を構成する多様な主体との連携・協働に根差したまちづくりを推進する必要がある。また、今後の財政状況の見通しは厳しいことから、財源、職員、施設等の限りある行政資源を効果的・効率的に活用する必要がある。

…また第五次基本計画では、新たな試みとして SDG s (持続可能な開発目標) の 17 のゴールと市の計画で定めた施策との関連性を表記されています。今後、この第五次基本計画の策定に向けてはパブリックコメント等を実施し以下の通り進められる予定です。

◆パブリックコメントの実施:R3年9月6日～10月5日

◆市民説明会の開催:R3年9月24日と9月25日  
※コロナの感染状況により開催方法等を変更する場合あり。

◆総合計画審議会の審議・答申および第五次基本計画の策定:R4年1月ごろまで

### ※中学生絵画コンクールの実施

市立中学校の生徒を対象に「水と緑と笑顔が輝くまち 東大和」をテーマとした絵画コンクールを実施し、入賞作品を計画書に掲載する。

## ■東大和市国土強靱化地域計画(案)とは

…この『東大和市国土強靱化地域計画』は初めて策定される計画です。“国土強靱化”とは「大規模自然災害時に、人命を守り、経済社会への被害が致命的にならず、迅速に回復する“強さとしなやかさ”を備えた国土、経済社会システムを平時から構築していく」ことを意味しています。国においても基本法が制定されており、その中で『地域の強靱化に関する施策を中長期的な視野のもとでと総合的、計画的に推進する指針として策定する

こと』とされているため、東大和市でも前述の総合計画などと整合性のある内容で、強靱化地域計画を策定することとなりました。

…この計画のなかでは「地震」、「豪雨・洪水などの風水害」、「土砂災害」、「火山噴火(降灰被害)」、「大雪」を災害リスクとして想定し、基本目標として「人命の保護」、「市及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること」、「市民の財産及び公共施設にかかる被害の最小化」、「迅速な復旧・復興」を掲げ、国と都が設定した内容に沿って地域の目標を明確化しています。また、この計画に定める施策に関連する事業については、別途作成する『アクションプラン』に定めることとなっており、原則として『アクションプラン』を毎年度見直すことが、国の補助金や交付金に必要とされています。この計画の策定については、今後の以下のスケジュールで進められます。

◆パブリックコメントの実施:R3年9月15日～10月14日

◆計画策定・公表:R3年12月下旬

## ■東大和市学校施設長寿命化計画(案)とは

…東大和市は少子高齢化による児童・生徒数の減少や、学校施設の老朽化等に対応するため「東大和市小・中学校再編計画」を策定し、現在10校ある小学校を8校に、また5校ある中学校は4校に再編することを計画。そして、統合する学校については建て替えを実施し、その他の学校は躯体を活用した長寿命化改修工事を実施することをこの計画(案)で示しました。

…市は以下のコスト比較により、3校建替え、9校長寿命化工事としたとのこと。また、この計画を実施した場合、現在のところ、建替えに関する国や都の補助金は無く、また長寿命化工事の場合の補助金も、改修工事後30年間使用することが条件のため、東大和市が補助金を得ることは困難との認識を市は示しました。よって、将来的には不明ですが、現時点では今回示された学校施設の長寿命化工事と建替え工事はすべて市の独自財源で実施しなければならない状況です。

### 【各パターンの総額と30年間の年あたりコスト比較】

◆12校建替え:396億円・13.2億円/年

◆12校長寿命化改修:334億円・11.1億円/年

◆3校建替え・9校長寿命化改修:336億円・11.2億円/年

…この計画の中では、他の公共施設と学校施設の統合(複合化・集約化)も検討するとしていますが、上記のコストは、単純に今ある学校施設をそのまま建替え、改修した場合の計算で、複合化などの検討の要素は含まれていません。また、文科省では感染症対策やGIGAスクールによる机の大きさを広げる必要などから、教室の広さを従来のものより広げることを、先月、各都道府県の教育委員会に通達。よって、そのことに対応した場合も、このコストは変わってくると思います。

…市の説明では、この計画は国に提出しなければならないという背景から策定されたとのことですが、今後の現実的な学校の施設のあり方なども踏まえると、この計画だけでは良し悪しを判断することはできないと思います。この計画策定までのスケジュールは以下の通りです。

◆パブリックコメントの実施:R3年10月1日～10月31日

◆計画策定・公表:R4年1月中旬

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102



東大和市 市議会議員

和地 ひとみ